

## プレアボイド報告（日病薬新システム開始に伴う今後の運用について）

7月9日作成（7月24日更新）

「プレアボイド報告」につきまして、岐阜県病薬では報告方法の簡素化のため、2009年より会員は本 Web サイト内で直接報告できるようにし、報告データは一括で日病薬へ提供させて頂いております。会員間で報告内容を共有できるようにした効果もあり、岐阜県病薬からの報告は近年では全国でも最も多いクラスの報告数で、かつ優良報告の多い県として日病薬から報告されています（[令和3年度プレアボイド報告の概要](#)）。

このプレアボイド報告について、日病薬では平成29年に報告数の増加に伴うシステムの仕様変更を行いました。様々な弊害を伴ったままであったことから、医薬品情報委員会が中心となって、諸問題を解決した新システムを開発し、2024年10月より順次開始するとの連絡が入りました。

※[日本病院薬剤師会：「プレアボイド新システムの稼働」について（2024.6.6）](#)

新システムでは、各施設から自施設の報告を PDF または CSV 形式でダウンロードして利活用できるようになる一方で、岐阜県病薬のように県全体の報告を一括で日病薬へ提供する運用には対応できなくなり、今後は各会員が日病薬のホームページへ直接入力して報告する運用へ変更することとなりますので、ご注意願います。

また、上記運用の変更に伴い、これまで病院単位で Excel シートにまとめて提出されていた施設につきましても、同様に日病薬ホームページへの直接入力での報告へ変更となりますので、併せてご注意願います。

上記の日病薬のリンクに記載ありますように、日病薬の新システムは**様式2**が「**2024年10月1日**」から、**様式1・3**が「**2025年4月1日**」から開始されますので、岐阜県病薬の現在の運用については、**様式2**は「**2024年9月29日**」まで、**様式1・3**は「**2025年3月30日**」までとさせて頂きます（日病薬への一括送信のため、各月末日は登録不可とします）。よろしくお願い申し上げます。

ホームページ管理担当：岐阜大学医学部附属病院 安田浩二(kyasu137@gshp.jp)